

高松市地域公共交通再編実施計画改定（案）に係る
パブリックコメントの実施結果

多くの御意見をいただきましてありがとうございました。

本市では、平成31年3月1日（金）から3月22日（金）までの期間、**高松市地域公共交通再編実施計画改定（案）**についてのパブリックコメントを実施しました。

皆様からいただきました御意見の要旨及び市の考え方を、下記のとおりまとめましたので、公表いたします。

記

- 1 いただいた御意見等の件数 10件（10人）
- 2 いただいた御意見の要旨とそれに対する本市の考え方

※提出いただいた御意見等は、趣旨を変えない範囲で簡素化又は文言等の調整をしているものがあります。

※高松市地域公共交通再編実施計画改定（案）以外の御意見につきましては、担当課等にお伝えしております。

No	御意見（要旨）	市の考え方
01	<p>本来の公共交通は「高松モデル」が結論ではなく、コミュニティの再生を促進しなければ効果は期待できない。</p> <p>地域における交通の在り方について、共生社会、地域包括ケアについても考慮し、他の施策との調整を図ること。</p> <p>交通弱者についての配慮が不足している。</p>	<p>「高松モデル」につきましては、持続可能な公共交通を構築するための手段であり、今後、鉄道を基軸としたバス路線の再編をスクラップ&ビルドを一体的に行い、再編後においても、運賃や時間的なサービス水準の維持に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>その中で、公共交通空白地域における、移動手段の確保につきましては、一定程度の利用者が見込める地域におきましては、本市として、地域主体によるコミュニティ交通の導入への働き掛けを強化することとしております。</p> <p>また、利用の需要が見込めない、公共交通によるカバーが困難なエリアなどにおきましては、セーフティネットとして、移動が困難な高齢者などに対する、移送支援サービスの在り方について、コミュニティ協議会や社会福祉協議会、NPO法人などとも連携しながら、効果的な制度の創設や、利用促進を図る事業の推進に取り組んでまいりたいと存じます。</p>

02	<p>由佐線について新駅（三条～太田駅間）に接続となっているが、国道 11 号は渋滞しており、定時運行が難しいのではないか。</p> <p>香川町シャトルバスのキョーエイ空港店より西について、終点が空港となるようルートを変更してはどうか。</p>	<p>バス路線の再編に当たっては、一定の要件を満たしたのから段階的に再編を進めていく「トリガー方式」としており、今後、運行に関する詳細なルートやダイヤにつきましては、利用者の利便性も考慮し、交通事業者と協議・調整をした上で決めてまいります。</p>
03	<p>本計画は新駅にバスを結節させることが前提の、郊外部から新駅及び市内中心部へのアクセスのみを考えたもので、各地区間の既存のつながりを考慮していない。利用実態を踏まえた再編計画とするべきである。</p> <p>地域の足であるバス路線は、遠回りでも旧道や集落を通ることが一般的である。</p> <p>由佐線、御厩線について、国道 11 号経由で新駅へ結節させることは、渋滞多発地点である天神前交差点を通ることで一層の渋滞を招くこととなり、また、マルナカ栗林南店への買い物利用が困難となることから、対策が必要であると考え。</p>	<p>地域公共交通再編実施計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、地方公共団体が作成するものでございまして、国からの支援を受けられる計画の内容と、公共交通空白地域に対する考え方を合わせ、市域全体の移動サービスをデザインした上で、策定することとしております。</p> <p>バス路線の再編に当たっては、一定の要件を満たしたのから段階的に再編を進めていく「トリガー方式」としており、今後、運行に関する詳細なルートやダイヤにつきましては、利用者の利便性も考慮し、交通事業者と協議・調整をしております。</p> <p>また、郊外部などの公共交通空白地域におけるネットワークの維持・確保の考え方といたしましては、地域住民の利用が前提となりますことから、まずは、それぞれの地域において、地域が主体的に関わったコミュニティ交通等の移動手段の必要性などにつきまして、住民の皆様へ理解と協力を求めていくことが重要と存じております。このため、一定程度の利用者が見込める地域におきましては、本市として、地域主体によるコミュニティ交通の導入への働き掛けを強化することとしております。</p>
04	<p>バス路線の廃止や減便が検討されているが、車を持たない弱者や免許を返納した高齢者が、家に籠りきりになる可能性が高くなる。</p> <p>免許の返納を勧めているが、それに代わる足を用意するどころか、反対に縮小していこうとしており、高齢者が外出を控えたり、自転車やバイクで怪我をすれば介護の必要な人が増え、行政の費用負担が増える。</p> <p>公共工事ではなく、快適・安全に市民生活を送れるよう、税金を使って欲しい。</p>	<p>本格的な人口減少、少子・超高齢社会において、更なる公共交通の利用者の減少により、既存の公共交通ネットワークの維持そのものが困難になる可能性があります。</p> <p>このため、本市では将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを構築していく観点から、ことぞん琴平線における 2 つの新駅整備や、現行バス路線の再編などに取り組んでいるところでございます。</p>

05	<p>松島三丁目には公共交通機関が無いため、高松駅起終点とし、主要な目的地及び松島三丁目を経由する小型バス等を検討してほしい。</p>	<p>公共交通空白地域におけるネットワークの維持・確保の考え方といたしましては、地域住民の利用が前提となりますことから、まずは、それぞれの地域において、地域が主体的に関わったコミュニティ交通等の移動手段の必要性などにつきまして、住民の皆様に理解と協力を求めていくことが重要と存じております。</p> <p>このため、一定程度の利用者が見込める地域におきましては、本市として、地域主体によるコミュニティ交通の導入への働き掛けを強化することとしておりまして、地域の実情に即した交通の在り方を検討する中で、需用に見合った車両の選択が進められればと存じます。</p>
06	<p>路線単体で残す、残さないではなく、時間帯での減便等の取組後に廃止の議論をすればいい。車両整備費や人件費を増やさずにできる工夫が欲しい。</p> <p>ことでんバスには乗り遅れるリスクを回避できる「バスロケーションシステム」が導入されているが、周知不足である上、バスの減便等を行うのは順番が違う。ICTを活用した情報のオープン化を行えば便利になるはずである。</p> <p>新駅（太田～仏生山駅間）が完成すれば太田駅は不要である。</p> <p>太田駅サンメッセ線について、電車と同じ15分に1本でなければ乗り継ぎに不便である。</p> <p>空港と2つの新駅、高松駅を結ぶバスがあれば、自家用車の利用が抑制される。</p>	<p>今後、各路線毎に減便等も含めたサービスの在り方について、交通事業者と協議を進めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、ICTを活用した情報のオープン化につきましては、「ことでんバス」の時刻表や運賃及び、地理的情報に関するデータをグーグルに提供し、本年3月からグーグルマップの経路検索に「ことでんバス」の路線全線が、反映されたところでございます。今後につきましても、検索用アプリやGPS電子地図との連携を含め、利用者が使いやすく、分かりやすい情報提供ツールの導入につきまして、交通事業者等とも連携しながら、本市の「スマートシティたかまつ推進協議会」の中でも、検討するよう提案してまいりたいと存じます。</p> <p>既存太田駅につきましては、新駅（太田～仏生山駅間）を整備することにより、既存利用者の分散がされるものの、徒歩・自転車による利用が多く見込まれますことから、新駅整備後も、必要な駅であるものと整理しております。</p> <p>バス路線の再編に当たっては、一定の要件を満たしたのから段階的に再編を進めていく「トリガー方式」としており、今後、運行に関する詳細なルートやダイヤにつきましては、利用者の利便性も考慮し、交通事業者と協議・調整をしてまいります。</p>

07	<p>ことでん琴平線・長尾線・志度線を環状線にして、無人化をしてはどうか。</p> <p>電車は安全であり、速達性・定時性という利点があるため、人が乗ればますます便利になり、便利なところに移住してくるという相乗効果が生まれると思う。</p>	<p>「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えの下、鉄道を基軸としたバス路線の再編により、持続可能な公共交通ネットワークを再構築し、集約されたまちを公共交通で繋ぐまちづくりを進めています。</p>
08	<p>バス路線をフィーダー化するのであれば、案内表示をしっかりとすべきである。乗り継ぎがしやすいよう、案内表示するデジタルサイネージの設置や、車内案内表示を行い、県外や外国の人にも分かりやすいようにしてほしい。</p>	<p>利用者が使いやすく、分かりやすい情報提供ツールの導入につきまして、交通事業者等とも連携しながら、本市としても導入に向けた提案をしまいたいと存じます。</p>
09	<p>新駅（太田～仏生山駅間）開業後、太田駅は廃業するのか。</p> <p>タクシーのよりよい利用方法を考えてほしい。人のための公共交通再編が推し進められることを願っている。</p>	<p>既存太田駅につきましては、新駅（太田～仏生山駅間）を整備することにより、既存利用者の分散がされるものの、徒歩・自転車による利用が多く見込まれますことから、新駅整備後も、必要な駅であるものと整理しております。</p> <p>本市では、バス路線再編に向けた基本的な考え方として、需用に応じたモードの検討を進めております。利用の少ない路線につきましては、ジャンボタクシー等、タクシー事業者とも連携を図りながら検討してまいりたいと存じます。</p>
10	<p>まちなかループバスについて郷東町のメディカルビルまで延伸してほしい。太田の方だけでなく、高松駅より西の公共交通についても考えてほしい。</p>	<p>まちなかループバスにつきましては、更なるサービスレベル向上・利用促進に向けて取り組んでいるところございまして、将来を見据えて、今後とも交通事業者と協議・調整を図ってまいりたいと存じます。</p>